

## 「年金基金廃止と私的年金の準備」

年金基金を巡っては不祥事に加え、運用実績が軒並み悪化しており、厚生労働省としても廃止の方向で動きつつあるようです。廃止の際の企業に与える影響も大きな懸念材料となっておりますが、老後を公的年金のみで迎えるということもそれ以上に大きな懸念材料となっています。高年齢者雇用安定法改正案成立も政府の対抗策と思われませんが、ある程度の年齢層の方（60歳前後）は働くことで収入不足を補う方法が有力です。ある程度継続的に出来る仕事を今の内から探しておいた方がよろしいでしょう。また、まだお若い方については、将来もらえるかどうか分からない公的年金にあまり頼り過ぎず、自ら年金を積立てる（私的年金）を始めることがお勧めです。特に保険料払い込み免除特約を付けることで、「将来もらえる年金はやや少なくなりますが、いざ三大疾病等の病気になられた時は以降の保険料が免除され、約束通り年金がもらえる」というものですので、プロから見てもお得感があります。死亡保障という面では大きくありませんが、将来の年金を積立てるという点からすれば問題ないでしょう。生命保険料控除も今年から見直されており、その枠にまだ空きがあるようでしたら、尚よろしいのではないのでしょうか。その際ポイントとなるのは、長期積立という観点から保険会社の安全性です。出来るだけ安全性の高い保険会社を選択することが肝要です。また受取については少なくとも65歳以降とするべきでしょう。お手伝いについては弊社でも行えますので、お気軽にご相談ください。

F P委員会 田原 智延